

4月から滞納者の水を止めます。

巨額な滞納料金を解消しないかぎり、健全な水道事業の経営はできません。

水道料金の滞納額は2億5千万円超！
公平な負担を守るため、給水を停止します。

これまでに伝えしてきたとおり、水を供給する費用はすべてみなさんからの水道料金でまかなわれています。しかしながら、福智町の水道料金の滞納額は、平成18年度決算で2億5千282万6千円とたいへん高額になっています。「滞納料金を解消しないかぎり、健全な水道事業の経営はできない」と言っても過言ではありません。

この対策として平成20年度（4月1日）から、水道料金を2か月以上滞納した場合、督促・催告などで滞納金額と支払期日を通知します。料金は必ず納期限までに支払いをお願いいたします。「一括支払い」が困難で、「分割支払い」を希望するかたは、支払い計画等について水道課で協議させていただきます。協議で合意すれば、そのことを誓約していただきます。なお、電話での支払い協議には応じていませんので、必ず来庁してください。

滞納した水道料金を原則として全額納付していただかない限り、水道を使用できる状態にもとずき、「開栓」はいたしません。また、「開栓業務」は次の業務時間以外には行いませんのでご了承ください。

分割納付協議・開栓業務時間

8時30分～17時15分
【福智町役場本庁2階 水道課】
土曜・日曜、祝祭日は除きます。

閉栓

「給水停止予告」「給水停止通知」に記載した支払い期限までに料金を支払っていただけない場合は、公共料金の公平、公正の観点から「給水停止」を行います。「閉栓」させていただきます。なお、「閉栓」は留守の場合でも実施します。

開栓

滞納した水道料金を原則として全額納付していただかない限り、水道を使用できる状態にもとずき、「開栓」はいたしません。また、「開栓業務」は次の業務時間以外には行いませんのでご了承ください。



ライフラインの未来を見据えて——STEPS——安定供給と水源の保全

命の水を守るために。

完成が10年延びた 県営伊良原ダム

福岡県みやこ町に建設予定の伊良原ダムは、平成19年度に完成の計画でしたが、現在は平成29年度まで完成予定が延長されました。今は伊良原ダム完成までの暫定給水として、北九州市から原水を買っています。耶馬溪ダムと油木ダムから供給を受け、田川地区水道企業団浄水場で浄化。福智町は、1日に3千9百トン（金田・神崎・上野地区に配水）を受水しています。

当初は、福智町が企業団から1日5千5百トンを受水する計画でしたが、これは合併前の計画でしたので、企業団に未加入だった旧方城町の区域は計画に含まれていませんでした。そして、



伊良原ダムの建設予定地

旧方城町の区域を補うため、現在は2千トンの増水を依頼しています。これが認められると、1日7千5百トンの受水が可能となり、ほぼ福智町全域に企業団からの水を行き渡らせることができます。

ダム完成を見極め 水道施設を統廃合

町の水道事業は、経営面で統合されていますが、施設面では旧町のままで、まだ統合されていません。

また、企業団からの受水以前に稼働していた上金田浄水場・神崎浄水場・天郷浄水場・



以前稼働していた神崎浄水場

鉤木田浄水場は、現在、予備施設として維持されています。一日も早い施設の統廃合が望まれますが、伊良原ダムの完成前と完成後では、福智町の水道施設のあり方が大きく

危機管理の構築と 連結した配水計画

水道は「ライフライン」と言われるように、わたしたちの生活になくしてはならないものです。緊急時や災害時にも対応できる危機管理体制も町が直面する重要な課題。現在は例えば、神崎地区が事故な

く遭ってきます。町では、伊良原ダムの完成時期を見極めながら施設の統廃合を計画する予定です。

生活を支える大切な水は、みんなの貴重な資源です。



一人ひとりがもつ水を理解しなければいけない。

どで水量不足になった場合は赤池地区から配水する”など、福智町としての安定給水ができるような配水や水道管の連結を計画しています。さらに、水道ビジョンの策定や公営企業改革プランの策定にも着手し、経営面や施設面での向上にむけて取り組んでいます。命の水を守るための水道は、みなさんの負担によって維持されています。町の水道事業へのご理解とご協力をお願いいたします。

問 福智町水道課 22-7769

WATER PICK UP

蛇口の外の メッセージ

水を守ることは川を守ること、そして森林や山を守ること。つまり、自然を守ることに繋がります。大切なことは、末端の水質に高度な処理技術を加えることよりも、その源となる水をきれいにする。本当にきれいな水源なら、薬品浄化やろ過も必要なく、そのまま飲むことができ、経費もそれだけかかりません。平成18年の九州一級河川水質ランキングでは彦山川が25河川中ワースト5位。その水質汚濁の原因は、生活排水が85%を占めています。地球上の水を家庭のお風呂一杯分にたとえると、氷や地下水を含む真水はバケツ1杯分(2.5%)、人が飲める水は大きじ2杯分(0.8%)ほどしかありません。水は限られた大切な資源です。そして、わたしたちは水がなければ生きていけません。毎日使っている水ですが、蛇口のおむこう側を知っているのと知らないのでは、使う意識も違ってきます。わたしたちの命や暮らしを支える水、その大切な水道水の供給は、この町に住むわたしたちの支え合いによって成り立っています。



国交省や田川ふるさと川づくり交流会の説明で2月15日に金田小4年生86人が川や水源について学びました。町内では地元協力による環境教育が積極的に進められています。